

令和6年度 学校経営計画書 美作市立勝田小学校

【本校の存在意義】

少子高齢化・数年後には児童数40名視野の状況 これまで150年間にわたり勝田エリアの子ども達の学びの場である本校において、未来を担う「勝田っ子」の育成を地域とともに担う。

【内外の状況】 ○強み △課題等

○小規模ならではの児童対応可能・素直な児童・年々落ち着き向上・地域との協働体制（CS）
△人間関係固定化・学力テスト等への対応力・自己肯定感低調・児童と家庭課題多様

1 学校教育目標 『夢を拓き、確かな学びと豊かな心、たくましく生き抜く力を育む』
～学びをつなぐ 心をつなぐ 未来へつなぐ 勝田っ子の育成～

2 学校経営目標 『児童も教職員も一人一人が尊重され、
笑顔とやる気があふれる未来志向の学校づくり』

<めざす学校像> 児童が学ぶ喜びを実感し、個々の良さを発揮できる楽しい学校
家庭や地域と協働する開かれた学校
教職員がいきいきと取り組む活力ある学校

<めざす児童像> かんがえる子（自ら考え、判断、解決する子）
つよい子（心と身体のたくましさ、粘り強さをもつ子）
たすけあう子（自他を認め、励まし合い、育ち合う子）

<めざす教職員像> 『笑顔で子どもの前に立ち、話をよく聴く教職員』
子どもに寄り添い、ともに学び、育つ教職員
保護者、地域に信頼される教職員
組織の一員として認め合い、協働する教職員

3 令和6年度 校内研究テーマ：だれもが楽しいと感じる授業づくり（第2年次）
・算数科中心「主体的で・対話的な学び」への志向
・インクルーシブの視点「だれもが」への志向

4 指導の重点：落ち着いた学習環境維持・向上（ルールを基盤にした対応）
「話す・聞く・書く・読む」活動重視（カリキュラム・マネジメント推進）
個々の状況を踏まえた対応（特別支援教育・自己肯定感向上意識）

5 令和6年度PTAスローガン：共に【楽しみ・悩み・思いやり・助け合い・成長していく】チーム勝田

勝田小学校学校運営協議会(R6)との協働：地域が願う児童の学び・児童像への意識

勝田中学校区「15の春プロジェクト」の取組との連動：保・小・中15年間をつなぐ意識
(ひまわり園での取組を踏まえる)